

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町2-11-2 TEBS BUILDING 3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

6月の街の音

〈テーマの設定理由〉

子どもたちとの散歩中、「電車の音が聞こえた」と子どもたち自身で音に気が付く姿が見られた。
様々な音を聞き分け言葉で表現する力が身につくなど、言葉や身体能力の発達に伴い自分たちで音を探しに行くことが好奇心を刺激し豊かな感性を育むことが出来ると考えた。

2. 活動スケジュール

2026年6月11日(木)

- ・保育園出発前に、音を探して公園まで行こうと声を掛け促した。
- ・白糸台第三公園までの道のりで何の音が聞こえるか都度問いかけた。
- ・西武線が通過するのを眺める。
- ・林で笹などの葉や鳥を観察する。
- ・白糸台第三公園にて自由に遊ぶ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・カメラ
- ・水筒
- ・散歩リュック

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・白糸台第三公園まで散歩
- ・補水
- ・林で葉や鳥の観察
- ・線路沿いで電車を見る
- ・都度音が聞こえたら立ち止まり聞く

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・保育園を出発した瞬間、「車の音がする」「自転車も聞こえる」と聞こえた音について声に出し友だちや保育者に伝えていた。
- ・鳥の音が聞こえた時、「どんな音が聞こえる？」と問いかけると「ピーピー言ってる」と答えた。「赤ちゃんが泣いてるのかも」「お母さんとお父さんがいいって言ってるよ」と何故鳴いているのか想像力を膨らませていた。
- ・何かの音が聞こえた際には立ち止まると些細な音にも気づき、耳に手を当て聞き入っていた。
- ・園に戻ってから何の音が聞こえたか、どんな音だったかを思い出しながら振り返った。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・公園までの道中も音に興味を示し聞くように意識すると、普段歩いている道でも新しい発見があり友だちとの会話も弾み楽しく歩くことが出来ていた。
- ・目で見えるものにも興味を示しがちだが、耳で聞くことにも興味を示し、探そうと伝えた日以外にも歩きながら「〇〇の音が聞こえたね」など友だちや保育者と会話を楽しんでいた。
- ・聞くことに夢中になり列から外れてしまいそうになることがあった。保育者が囲みながら聞くようにすることで安全に気をつけて音を探ることが出来た。
- ・電車の音、飛行機の音、風の音など沢山の音を見つけることが出来たが、音がどう聞こえているかのオノマトペは子どもによって違っていた。